

新幹線問題について 保育料第2子無料化を望む

川添議員

(1)新幹線大村駅(仮称)設置に関する市民アンケート調査結果について
①公表の時期と方法を尋ねる。

②JR大村線乗換駅は請願駅なので設置費用の大部分は大村市の負担になると考える。何%で金額はどの位か説明を求める。
③西側乗降口を造るとすれば大きな予算を伴うと考える。(駅舎の建設・周辺整備・新たな道路の建設等)すべての予算額(JR大村線乗換駅含む)を明らかにして市民の意見を聞いてから決定すべきであると考え。当局

企画部理事

(1)①5月から6月にかけてアンケート調査をしたが、この集計結果については11月号の広報おおむらや市のホームページで公表する予定にしている。

副市長

(1)②JRの乗換駅は請願駅となるが、これまでの請願駅状況からすると地元は9割負担ということになるのではな

の見解を伺いたい。

④もしJR大村線乗換駅新設になれば重大な影響を受ける恐れのある「竹松商店街・大村駅前商店街」の救済策はどのように考えているか説明を求める。

(2)平成22年度保育料第2子無料化の継続を望む
平成21年度は無料化になり、保護者、関係者は感謝されている。市長は常日頃「子育てするなら大村で」と言っている。大村市の売りである保育料第2子無料化の平成22年度継続の意思について尋ねる。

いかと思う。
副市長 (1)③予算規模を明らかにして、市民に再度問いかけるというのは非常に重要なことだと思う。しかし、現時点で西側乗降口や乗換駅がどれくらいの金額になるのかというのを計算するのは非常に難しい状況であるので、今のところ、市民アンケート調査の結果や8月に

行った地区別の意見交換会、市議会の意見を参考にしながら、ある程度の方角を出していきたいと思っている。

企画部理事

(1)④地区別の意見交換会の中でも、そういった質問は出たが、市としては、竹松駅は当然残し、快速はとめていただくという前提の中で、新幹線大村駅に対する乗換駅はどうかということ、皆さんに意見を問うている。

市長 (2)少なくとも22年度は無料化でいきたいという方針を持っている。長引く不況を背景に子育て世代の収入の減少が懸念されている中で、子育てに伴う経済的負担の軽減を図ることは、保護者の子育てを支援する上で重要な課題であると判断している。



新幹線新駅予定地

消防第5分団管内の消火栓の設置 信号機の変更、照明灯の増設について

田崎議員

交通防犯行政について

①国道34号線から堤動物病院に通じる市道と西小路の道路の交差点に消火栓を設置しないと、この付近で火災が発生した場合、消火ホースの導入に手間取り、密集している家屋が類焼するなどして大きな被害がでるのではないかと危惧している。一昨年にも一般質問でお願いしたが、再度、消火栓の設置を強くお願いする。

②本経寺前の市道から国道34号線に通じる昭利通り交差点で頻繁に交通事故が発生している。この

市民生活部長

(1)①この場所への消火栓の設置については、国が定めた消防水利の基準を現状においてクリアしており、またこの場所の水道管は50mmで、消火栓の設置が可能で、100mm以上の水道管が布設されていないため困難と考えている。

市民生活部長 (1)②ここには徐行、一旦停止の点滅

市道は「エレナ中央大村店」と「ナフコ南大村店」が開店してから交通量が増加した。そこで、この交差点に設置してある点滅信号機を普通の信号機に変えることで交通事故が減るかと考えている。ぜひ、普通の信号機に変更をお願いしたい。

③市営陸上競技場付近では健康維持のため早朝や夕暮れ時に多くの市民が散歩されているが、国道からポート場までの道路で「いろは段」付近の照明が不足し、暗いので照明灯を増やすことができないか。

信号及び横断歩道が設置されている。通常の信号機に変更できないか、大村警察署と協議を行ったが、ここは有効幅員が狭いために変更はできないとの回答である。市としても、交差点における交通事故防止のため、一時停止線に加えカーブミラーも設置をしているので、安全通行に努めていた

きたいと思っている。

都市整備部長

(1)③市営陸上競技場と野球場の間の市道で、いろは段がある付近の現地を確認したが、樹木がうっそうとしていて、大変暗く、薄暗くなるとドライバーが歩行者を確認するのが難しいのではないかと感じた。この件については多数の市民から要望があっている。今年度中に設置したいと考えている。
(その他の質問事項)
・新政権誕生後の市政運営について



いろは段付近の市道